

今年の飛躍願い書き初め

八ヶ岳総合博物館で教室

茅野市八ヶ岳総合博物館と

諏訪ユネスコ協会は4日、書き初め教室を同館で開いた。市内の小学生を中心に約30人が参加して、今年の飛躍を願い、力強く筆で字を書いた。

2023年度に「書道」がユネスコ（国連教育科学文化機関）の無形文化遺産リストに提案されることが決まったことを受け、昨年から同協会と同館が共催して開いている教室。冬休みの書き初めの課題などにしようとする子どもたちに人気で、定員を上回る参加者が集まった。

同協会の会長で書家の平出信次さん（66）＝原村＝らの指導で、「友だち」「生きる力」「自然の美」「将来の夢」などの字を表現した。子どもたちは筆運びや文字のバランスなどを考えながら繰り返し練習。心を込めて元気な字を書き上げ

た。
宮川小学校5年の田村千博



さん（11）は「きれいな字を書きたい。今年をいい一年にしたい」と意気込み、「正月の朝」としたためた。平出さんは「元気よく、思い切り書いてほしい」と話していた。

（手塚洋二）

八ヶ岳総合博物館で開かれた書き初め教室で力強く字を書く子どもら